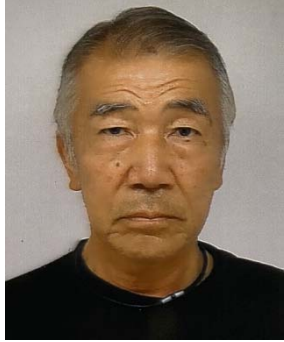


令和3年度		
氏名	なかぼう しげとし 中坊 成敏	
生年月日	昭和30年生	
住所	奈良県御所市	
品目	御所柿（ごしょがき） <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県は柿の生産量全国第2位で多様な柿を生産 ・柿は中国から伝来した当時は完全渋柿と一部だけが甘柿となる不完全甘柿であったが、御所柿は、安土桃山時代から江戸時代初期に、この御所の地で突然変異により生まれた完全甘柿で、甘柿のルーツと言われる御所市の在来品種 ・完熟し身が柔らかくなってから食し、甘みが強く、粘り気があり、舌触りがなめらか ・栽培が難しく不安定なため生産が激減 	
技術	高接ぎによる御所柿の安定生産 <ul style="list-style-type: none"> ・病害虫に弱く、隔年結果性が高く、生理落果もしやすく、栽培が難しいことから生産がわずかな量にまで減少した在来品種の「御所柿」を「富有」や「刀根早生」などの他品種への高接ぎにより安定栽培。地域における生産を維持・拡大 	
活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和53年に就農、翌年に柿のハウス栽培を開始 ・接ぎ木による御所柿の着果安定技術の開発を進め、生産も徐々に安定・拡大し、平成21年には、東京や大阪への市場出荷も開始 ・平成22年、JA奈良県、奈良県、御所市が中心となって立ち上げた御所市柿産地協議会の副会長に就任 ・既存品種に高接ぎして生産量を維持しつつ、高接ぎ技術の講習会の開催・技術指導、自園から採取した御所柿の穂木の配布等の活動を実施 ・事業者と連携して、加工品（ケーキ、柿蜜など）の開発、農商工連携、6次産業化へも取り組み ・市内に20a程度まで減少していた御所柿の栽培は、50a程（令和2年）までに拡大し、「ごせブランド認定品」に ・一層の安定生産技術の確立を目指し、処理時期や処理部位を変えた環状はく皮、受粉時の花粉遮断により単為結果させるなどの試験に引き続き取り組み中 ・経営面積 120a うち御所柿 20a 	
相談に 応じられる 分野・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統知を基本とした御所柿の栽培技術の普及・向上サポート ・御所柿による地域農業の6次産業化と商品づくり 	
受賞歴等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年 公益財団法人園芸振興松島財団 振興奨励賞 	
主な役職	<ul style="list-style-type: none"> ・平成15年～現在 JA奈良県葛城柿部会 副部長 ・平成22年～令和2年 奈良県指導農業士 ・平成22年～現在 御所市柿産地協議会 副会長 ・平成22年～現在 JA奈良県葛上直売所 運営委員会 会長 ・平成26年～現在 奈良県果樹研究会 副会長 ・令和元年～現在 御所市地域農業再生協議会 多品種部会 会長 	
H P	<ul style="list-style-type: none"> ・ 	

